

## 放送ストリーミング情報収載

### 放送ストリーミング情報【2024No.345】(HP 収載)

分類：ネットストリーミング

局等：Digital Concert Hall

作曲家：アントン・ブルックナー

曲名：交響曲第 6 番

演奏：サイモン・ラトル指揮ベルリンフィル

関連サイト：<https://www.digitalconcerthall.com/ja/concert/55094>

2024 年 6 月 2 日ベルリンフィル大ホールでの演奏です。



ラトルがブルックナー「第 6」とヴィトマンを指揮

ブルックナーの交響曲第 6 番は、長い間この作曲家の作品の中で過小評価されてきたと言えるでしょう。サー・サイモン・ラトルは、その理由が、この作品が通常のブルックナーの交響曲に対する期待——作品の長さや悲愴感——を満たしていないためだと述べます。ブルックナー自身も、この第 6 は「最も大胆な」作品であると語っています。ほかにも、今シーズンのコンポーザー・イン・レジデンス、イェルク・ヴィトマンがシュテファン・ドールのために作曲したホルン協奏曲が世界初演を迎えます。上記の他に下記が演奏されました。

イェルク・ヴィトマン

ホルン協奏曲 (財団法人ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団委嘱作品・初演)

シュテファン・ドール(ホルン)

ブルックナーの交響曲第 6 番は、ブルックナーらしい壮大な構成の曲で、静かに流れるような表情から壮大な盛り上がりまで、刻々と表情を変えて展開していきます。このような複雑な音の構造にも、これまでのアースアキュライザーの導入により破綻なく表現できています。

ヴィトマンのホルン協奏曲は、ベルリンフィルの首席ホルン奏者のシュテファン・ドールが団員の中を移動しながら指揮者の左手にまで進み、高度なテクニックを交えて

演奏します。演奏されるのは現代曲のようで、不思議な感覚を覚えるような表情の中に、ところどころ馴染みの曲の旋律が時折現れたり、通常使われない打楽器や笛の音が混ざり込んだりして進行します。



以上